

拠出金名：世界食糧計画拠出金

国際機関等名	国連世界食糧計画 (英文名称・略称) World Food Program(WFP)					
種 別	＜国連本体＞		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額 (注1)				拠出率(%) (注2)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成16年度	472,013	4,291		1\$ = 110 円	(2004年) 100	100
平成15年度	342,688	2,809		1\$ = 122 円	(2003年) 100	100
平成14年度	342,688	2,809		1\$ = 122 円	(2002年) 100	100
事業(プロジェクト)への拠出						
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)(注3)		
	国 名	(千ドル)	率(%)			
1位	日本	4,291	100	当該年度の収入 3,339,600千ドル		
2位				当該年度の支出 3,072,800千ドル		
3位				次年度への繰越 1,801,000千ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				UN Panel of External Auditors, Comptroller and Auditor General of the U.K. (現在の構成員の出身国: 英)		
上記の率及び順位は2004年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
以下の理由で我が国はWFPの活動を評価。①国連システム最大の援助機関であり、世界の人道支援に主要な役割を果たす。②米、EC、英と共に大口ドナーである日本を重視しており、年に1度は事務局長以下4名の事務局次長が訪日している他、邦人職員の採用にも積極的。③2005年3月に開催された第2回日・WFP政策協議では我が国が重視する「人間の安全保障」を推進するパートナーシップを結ぶなど、我が国の政策推進に協力的。④ドナーベース拡大努力を積極的に実施。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
WFPは2003年から裨益者の最大化、財源の効率的運用、ニーズに迅速に対応出来る食糧支援を目指してビジネス・プロセス・レビュー(BPR)を導入し、9つのパイロットプロジェクトで実施している。資金の効率的な配分・運用により実際に食糧援助量、裨益者数を増加させている。我が国はBPRの趣旨に賛同している。						
邦人職員数 うち幹部以上	43 人 うち 2 人(注4)	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	1,153人(注5) 3.7%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
アジア地域局次長 日本事務所代表		忍足 謙朗 玉村 美保子				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
2003年来邦人職員増強のためのリクルートミッションが来日しており、日本人職員の採用が強化され、職員総数は着実に増加している。但し、幹部レベル職員は2名のみであるため、今後は特に幹部ポストへの人材送り込みが必要であるが現在のところ具体的な計画はない。						

(注1) 金額については、農林水産省拠出分のみ記載。WFPには、この他に外務省より拠出あり。

(注2) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2002年～2004年)。

(注3) WFP全体の収支額で代用。

(注4) 2005年4月30日現在。

(注5) 2004年12月31日現在。